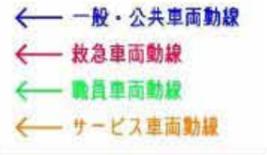


※新病院開院後、解体・駐車場整備などを行います。

バスの乗り入れ



新病院では正面玄関前にバス停を整備します。快適なアクセスが可能となります。



工事中の環境配慮

周辺住民への騒音・ほこりなどの対策について、防音・防塵などの対応を行う計画です。

駐車台数 524台確保

患者・スタッフ用合わせて524台の駐車場を整備する計画です。ピーク時でも十分な駐車スペースを確保できます。工事期間中も患者などへの駐車スペースを確保しながら建設する予定です。

敷地内の動線を分離

患者動線、救急動線、スタッフ動線を明確に分離します。敷地内で交通事故などが発生しない計画です。

●日時
1月23日(木)
午後2時から、午後7時から2回開催

●場所
市民病院地域医療研修センター(4階)

※基本設計の詳しい概要は市民病院ホームページに掲載しています。

基本設計報告会のお知らせ

市民の皆さんに、基本設計の内容をお知らせする報告会を開催します。事前申し込みは不要です。ぜひお越しください。

新・荒尾市民病院

NEW ARAO MUNICIPAL HOSPITAL

令和5年度末の開院を目指す

総事業費は工事費・医療機器等整備含め約147億円と見込んでいます。

なお、この概要は今後の実施設計および施工の段階で一部変更することもありますので、あらかじめご了承ください。



分かりやすい外来の整備

ブロック受付を配置し、待合の状況が確認しやすくなります。複数の診療科をまとめたブロック受付方式により、初めての患者にも分かりやすくなります。



全個室型一般病棟の整備

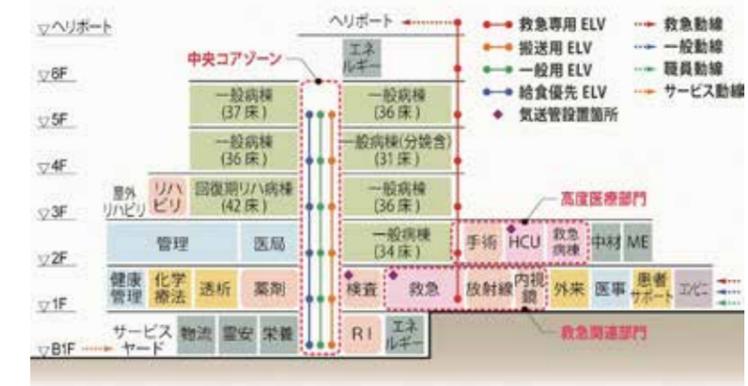
プライバシーに配慮した全個室型病棟となります。感染症対策にも効果を発揮します。



救急・災害に迅速に対応

●救急医療
救急においては、緊急時にも対応できる体制を確立します。屋上ヘリポートと救急・手術を直結するエレベーターを整備します。

●災害対応
免震構造を採用することにより、災害発生時においても医療行為の継続が可能となります。



医療機能の充実

●災害拠点病院の指定
大災害時にも広域からの患者の受け入れに対応できる体制を整えます。

●地域救命救急センターの指定
重症患者の治療を、熊本市や久留米市に搬送することなく、地域内で行うことができます。

●患者サポートセンターの設置

●歯科口腔外科の開設

●ロボット手術へ向けた対応
重症患者、難しい手術へ対応するために、高度医療を推進します。



ワンフロア外来の整備

全ての診療がワンフロアで完結できるようになります。患者の移動負担を軽減させるとともに、効率的な診療を可能とする計画です。